競技・ハンディキャップ委員会議事録

日　時：令和４年８月７日　13：50～15:10
参加者：岡田委員長、大健副委員長、老山委員、天羽委員、石川委員
　　萩原委員、間宮委員、古賀委員、荻野委員、松本委員
　　石田委員、髙梨委員、田中支配人、狩野副支配人、瀧口一樹

①　2023年競技日程表について
➔2022年と変更なく行っていく。
※KGA関東シニア選手権予選を６月26日（月）・予備日６月30日（金）で
本千葉CCにて行う。

②　競技のカートナビへのスコア入力・アテストについて
➔総武・新日本・成田東・東千葉・スカイウェイなどで、ナビ入力をそのまま
スコア提出として競技を行っている。
特にトラブルはないとの報告。
【◎決定事項：①】
➔2023年の新年杯より、全ての競技でスコアカードへの記入やアテストをせず、
ナビにスコアを入力し、『終了ボタン』を押すことにより、最終のアテストされた
ものとして提出する。
※2022年８月月例杯よりスタートの競技委員の案内で告知していく。

③　その他
(1)　グランドシニア選手権
➔月例杯にも参加したことがないような、競技に不慣れな方がエントリーされた。
参加資格に規制を追加すると参加者が減少する可能性がある為、
全組キャディ付きを希望。
■⇒キャディ不足の為、要検討。

(2)　月例杯のクラス分け
➔A・B・Cの３クラスに分けてみてはどうか。
Bクラスの中でレベルの差が激しい為、Bクラス上位の方がキャディ役になって
します。ルールはもちろん、自分のスコアも数えきれていない方もいる。
■⇒結論が出ないため、継続審議。12月の委員会に持ち越し。

(3)　競技のスタートの案内について

➔各ティイングエリアでのスタート前の案内は非常に大変。

長時間の立ちっぱなし、雨、風、暑さ、寒さなど。

・案 1：全コース、クラブハウス内のレストランアテストブースで案内を行う。

・案 2：東と中コースはスタート小屋で行い、西コースはレストランアテストブースで行う。

⇒上記 2 つの案の方法場合、東と中コースの担当は 1 名で対応できるのではないか。

競技委員の担当回数を軽減できる。

・案 3：各コースに周りを囲めるテントを全競技で設置し、雨風を防ぐ。

⇒やはり、競技の緊張感は必要で、各ティイングエリアでの案内は必要。

■⇒上記全て、結論が出ないため、継続審議。12 月の委員会に持ち越し。

【◎決定事項：②】

➔上記の案内場所の変更をするのであれば、「競技規則及び細則」の「2」にあるフロントでのチェックインでの時刻をスタート時刻の「20 分前」から「30 分前」に変更し、スタートの案内を余裕もって行う事が出来るようにする。

※『2.予めスタート時刻を定める競技においては、参加者はその時刻までにスタートのティイングエリアに到着しなければならない。同時にフロントでのチェックインは **30 分前**までとする。』

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2022 年 12 月 11 日（日）開催予定。

以上